

平成26年度第4回障がい当事者支援プロジェクト 会議録（かいぎろく）

日時：平成27年1月27日（金）13：30～15：30

場所：三重県身体障害者総合福祉センター大研修室

参加者：プロジェクトメンバー10名、事務局3名

1. 自己紹介

- ・参加メンバーが一人ずつ簡単な自己紹介をしました。

2. 障がい当事者支援プロジェクトの目的の確認

- ・事務局の担当者から、プロジェクトの目的が説明されました。
- ・プロジェクトの目的は、「障がいがあってもなくても暮らしやすい社会にし ていくにはどうすればよいかを考えるための場所」です。

3. 障がい当事者支援プロジェクトのルールについて

- ・事務局の担当から、プロジェクトで守って欲しいルールが伝えられました。

- ①参加メンバー全員が意見を言いあえるようにすること。そのために、自分だけでなく、他の人の意見もきちんと聞くこと。
- ②これから考えたいこと、やりたいことはできるだけ参加メンバーの間で決めること。手伝いが必要なことがあれば担当者に伝えること。
- ③わからないことがあればいつでも質問すること。聞かれた人は教えてあげること。

④このプロジェクトで聞いた他のメンバーの個人情報^{ぶるじえくと きいたほか めんばー こじんじょうほう}を勝手に他の場所^{かって た ばしょ}でしゃべらないこと。

4. 前回^{ぜんかい}（12月）話し合ったこと

・事務局^{じむきょく たんとうしゃ}の担当者から、前回話し合ったこと^{ぜんかいはなしあつた}が説明^{せつめい}されました。

・前回は、お互い^{ぜんかい おたがい}のことをもっと知る^{しる}ために「自分が困^{じぶん こま}っていることを他の人^{た ひと}にわかってもらうための伝え方^{つたえかた}」について話し合^{はなしあ}いました。話し合^{はなしあ}いのなか

で、自分^{じぶん}たちができることを何か^{なに}考えてい^{かんが}えたい、という意見^{いけん}も出^でました。

くわしい内容は、前回^{ぜんかい}の記録^{きろく}を見^みてください。

・第4回^{だい4かい}は、「障^{しょう}がいのある人^{ひと}が困^{こま}っているときに周り^{まわり}の人^{ひと}はどうしたらよいか^{いかに}」について話し合^{はなしあ}うことになりました。

5. 話し合^{はなしあ}い

・前回決^{ぜんかいきめ}めたとおり、「障^{しょう}がいのある人^{ひと}が困^{こま}っているときに周り^{まわり}の人^{ひと}はどうしたらよいと思^{おも}いますか^か」というテーマ^{てま}で話し合^{はなしあ}いました。

・以下^{いか}は参加者^{さんかしゃ}から挙^あがった主^{おも}な意見^{いけん}です。

○（自分^{じぶん}が）これまで^{これまで}に助^{たす}かったこと、良^よかったこと

・わかりやす^{わかりやす}く説明^{せつめい}してもらった

・自分^{じぶん}のことをわか^{わか}ってくれる仲間^{なかま}がいる

- ・人の^{ひと}気持ち^{きもち}がわかるようになった
- ・知らない^{しらない}人^{ひと}でもやさしく^{こえ}声をかけてくれる
- ・バリアフリーじゃない^{ちいき}地域^{ちいき}でもまわりに^{たすけて}助けてくれる人^{ひと}がいればくらしやすい
- ・気づ^{きづ}かいなくヘルパー^{へるぱー}を長時間^{ちようじかんりよう}利用できるとすごしやすい
- ・自分^{じぶん}がいやなことを思い出^{おもいださ}さないこと（ほんとうは思い出^{おもいだせ}せないのだけど）
- ・偏見^{へんけん}なく関わ^{かかわ}ってくれる人^{ひと}がたくさんいる
- ・自分^{じぶん}の悩み^{なやみ}を上手^{じょうず}に聞^きいてくれる人^{ひと}がいる

○まわり^{ひと}の人^{ひと}はどうすればよいか

- ・障^{しょう}がい^{うむ}の有無^{かんけい}に関係なく、お互^{おたが}い^{ひとり}が一人^{にんげん}の人間^{せつする}として接^{せつする}すること
- ・最近^{さいきん}は無関心^{むかんしん}の人^{ひと}も多いけど、無関心^{むかんしん}=心^{こころ}のバリアがあるということではないか
- ・障^{しょう}がい^{しゆるい}の種類^{しゆるい}をこえた交^{こう}流^{りゆう}の場^ばがほしい
- ・どんな^{かたち}形^{かたち}であっても関^かわ^{かわ}るき^{ひつ}っかけ^{ひつよう}が必要^{ひつよう}
- ・相手^{あいて}のことを理^り解^{かい}しようとする気^き持^{もち}ち^{たい}が大切^{たいせつ}
- ・まわり^{ひと}の人^{ひと}が善^{ぜん}意^いで接^{せつ}してくれたとしても自分^{じぶん}の気^き持^{もち}ち^{たい}とずれてい^{ばあ}る場合^{ばあ}
- には自分^{じぶん}の気^き持^{もち}ち^{たい}を相手^{あいて}に伝^{ひつ}え^{ひつよう}ることが必要^{ひつよう}。
- ・家^か族^{ぞく}の間^{あいだ}ではどうしても感^{かん}情^{じょう}的^{てき}なやりとりになりがち。

○みんなが相手^{あいて}のことがわかるようにこれから考^{かん}え^がていき^えたいこと

よけい きづかい かんけいづくり
・ 余計な気づかいのない関係づくり

あいて りかい おたがいはなしあう
・ 相手のことが理解できるまでお互いに話し合う

つたえたい つたえる
・ どうしても伝えたいことはしっかり伝える

しょう しゅるい ちがう しらない おおい しょう ひと
・ 障がいの種類が違っていると知らないことも多いので、いろんな障がいのある人

いっしょ はなしあい つづけて
と一緒に話しあいを続けていきたい

しょう ひと いっしょ はなし
・ 障がいのない人も一緒に話しができるとよい。

5. 次回以降のこと

・ 第5回 2月17日（火）13:30～、第6回 3月17日（火）13:30～